

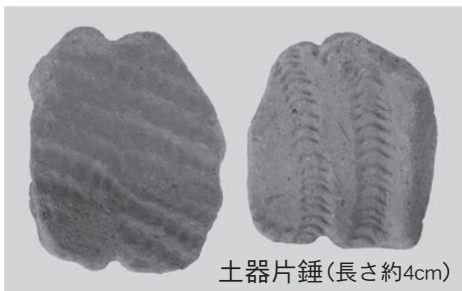
発見!

牛久のお宝

問 文化芸術課(中央生涯学習センター内) ☎871-2300

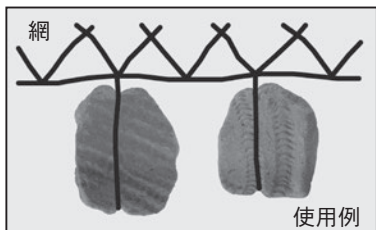
じょうもんどき

第7回 縄文土器のリサイクル



土器片鍾(長さ約4cm)

赤塚遺跡(桂町)は、昭和59年に筑波南桂工業団地建設に伴う発掘調査が行われ、縄文時代中期(約5500〜4500年前)の集落跡が発見されました。住居跡は20軒確認され、底のない土器が床に埋め込まれたものもありました。おそらく土器の内側で囲炉裏のように火をたき、煮たきや暖房として使われていたと思われます。また、住居跡からは縄文土器や土器片鍾がたくさん見つかりました。土器片鍾は、土器の破片を利用して作られた、魚をとるための網のおもり



使用例

今回紹介した土器片鍾は、中央生涯学習センター展示ホールで展示中



です。形が楕円形に整えられ、網を取り付けるための切り込みが長軸の両端に施されています。縄文時代の人びとは、調理や貯蔵用として使われていた土器が壊れても、すぐには捨てず、リサイクルして大切に使用していたと考えられます。

里山の樹木

問 都市計画課

☎内線2524

第28回

イヌザクラ

イヌザクラの樹冠：遠山町の林縁
平成24年7月29日



花序：南1丁目雑木林
平成20年5月4日撮影

高さ10mに達する落葉高木で、本州から九州に分布し、市内では斜面林や雑木林に自生しています。葉は互生し、縁に浅い鋸歯があり、葉身は長さ5〜9cmの長楕円形で、先端は尾状にとがり、基部はくさび形です。花序はふつうのサクラとは異なり、前年枝の

文芸さろん | 卯月 |

渡良瀬の水面に写る山間の

憩いの里に人ら集まる

桜咲く気持ちはいつもありがとう

研ぎわすれ涙ふきふき葱きざむ

啓蟄や風入れ替える醤油蔵

厨より砂吐く浅蜷のうごく音

ヒヤシンスひしめき会って咲きほこり

浅蜷汁おれの碗だけ殻だらけ

草葉

月田さん

サッコ

進の介

淑子

富美子さん

秋穂

【作品募集】イラストや俳句、川柳、短歌など

【あて先】〒300-1292牛久市中央3-15-1

「広報うしく文芸さろん」係 FAX: 873-2512

E-mail: kouhou@city.ushiku.ibaraki.jp

【記載事項】作品、氏名、電話番号、匿名希望の方はその旨(ペンネームもOK)

節から出た長さ6〜9cmの総状花序で、小さな白い花をブラシ状に多数つけます。花序の枝に葉がない点がウミズザクラとの違いです。果実は径8mmの卵円形で、7〜8月に黄赤色から黒紫・黒色に熟します。秋になると、葉が濃い赤茶色になり紅葉がとて綺麗です。樹皮の色が白っぽいことから、別名シロザクラ。また新分類ではサクラ属と分けてウミズザクラ属です。
※牛久の里山樹木ハンドブック9ページ掲載。本の問い合わせは牛久自然観察の森 ☎874-6600まで。
【資料提供】NPO法人うしく里山の会(文章:戸塚昌宏、写真:戸塚昌宏・村尾重信)

「牛久の巨樹」発売中 ※お求めは都市計画課まで(1,200円)